

才能教育新会長に早野氏

東大大学院教授 若手指導者育成に意欲

公益社団法人・才能教育研究会(松本市深志3)は23日、任期満了で退任する鈴木裕子会長(75)に代わる新しい会長に、同研究会理事で東京大学大学院理学系研究科教授の早野龍五氏(64)―東京都、松本深志高校出身―を選任したと発表した。市民タイムスのインタビューに対し早野氏は、課題となっている若手指導者の育成に力を注ぐ考えを示し「人を育てるといふスキ・メソッドの理念を大切に、社会に貢献し続けられる研究会を目指していきたい」と抱負を語った。

(北原 哲)



新会長としての抱負を語る早野氏

早野 龍五氏(はやの・りゅうご) 松本深志高校卒、東京大学大学院理学系研究科修了。平成9年から同研究科教授、22年からスキ・メソッドOB・OG会理事、26年から才能教育研究会理事。

22日の理事会で決定 係で松本市に移住し、大垣市生まれで、幼いころに父親の仕事の関学に進み、同大学院理

は。 一會長に就任した気持ち 降、その傾向に拍車がかかっている。環境が変わったならば、研究会も変わっていく必要がある。鈴木先生がゼロから生徒を増やしてきた海外の教室からもノウハウを学びたい。

は。 鈴木先生に厳しく指導していただいたことで今がある。恩返しができほという気持ち。音楽の専門家ではないので一人では何もできない。各地の指導者と一つにな

発展へブランド力強化

ハウを学びたい。 研究会発展に向けて会長としてどのように取り組むか。 営利の音楽教室ではない公益社団法人として「公益とは何か?」と問い続け、

国内の生徒数は減少が続いている。因果関係は分からないが東日本大震災以

※市民タイムス紙 提供